

# ランナーの背中押す応援で地域をアピール!

「時」には雪が舞う中、ランナーが通り過ぎるまで数時間にわたって応援し続けることもありますが、「こちらの声援に『ありがとう』と応えながらハイタッチしてくれると疲れも吹き飛びます」(岡本さん)。

こうした取り組みは、ひとえに「飽田」という地域を少しでも多くの人に知ってもらうため。

## ランナーとの交流楽しむ 応援が地域の恒例行事に

2 月18日に開催される「熊本城マソン2018」。沿道の人出の多さで全国的にも有名ですが、中でも地域を挙げて取り組んでいるのが飽田地域です。

飽田地区自治連合会会長を務める岡本昭伸さんは、「飽田には15の地区があり、熊本城マソンのコースになっているのはそのうち半分ほど。それでも、当日はすべての地区が何らかの形で応援に協力しています」と胸を張ります。毎年、自治連合会が中心となり、当日、沿道に出てランナーに声援を送るよう住民に呼びかけます。さらに、大漁旗を掲げたり、太鼓の演奏やひよっこと踊りを披露したりと、地区ごとにさまざまな趣向で大会を盛り上げ、ランナーの評判も上々。

## 地域担当職員からひと言

飽田地域は、地域全体での一体感が強いのが特徴です。「飽田はひとつ」のスローガンの下、熊本城マソン大応援団に限らず、さまざまな行事で「何かあれば手伝う」という協力体制ができています。各地区が趣向を凝らしたマソン応援は、参加したランナーからお礼のメールが来るほどです。

飽田まちづくりセンター  
島田敏夫



コース脇に大きな横断幕を掲げ、「飽田」の名前をランナーにPR

今年も、多くのランナーが飽田地域で元気をもらって、ゴールに向かうことでしょう!



勇壮な太鼓の演奏で疲れたランナーを鼓舞します

また、大会が近づくと住民の間で「もう、そろそろだろ」と話題に上るほど「恒例行事」として定着しており、地域の一体感を高めるのにも貢献しています。

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン

# まち・ひと つながる



熊本市まちづくりセンター通信 vol.16

熊本市内各校区で、まちづくりに関わり、地域の活性化のために頑張っている人たちを紹介します。



飽田地区自治連合会 会長  
岡本昭伸さん(69)

お問い合わせ

- 熊本市地域政策課 ☎096(328)2031 (月~金曜・8:30~17:15)
- chiikiseisaku@city.kumamoto.lg.jp
- 飽田まちづくりセンター ☎096(227)1112



「まち・ひと・つながる」の紙面への感想をはじめ、まちづくりに関するアイデア、相談など左記にお寄せください。